

## 西アジア諸国等文化遺産保存修復協力事業 (②セ03-14-4/5)

### 目 的

西アジア諸国、とくに内戦・紛争によって危機にさらされているアフガニスタン及びイラクの文化遺産の調査研究や文化遺産の保護・保存修復事業を通して、技術移転及び人材育成を図り、自国民の手による文化財保護事業の確立の支援を目指す。また、あわせて周辺地域（特に中央アジア、インド、コーカサス）の文化遺産の調査研究・保護への協力を実施する。

### 成 果

#### 1. アフガニスタン（バーミヤーン）

ア) アフガニスタン文化財専門家研修事業：文化遺産国際協力拠点交流事業 キルギス共和国及び中央アジア諸国における文化遺産保護に関する拠点交流事業「史跡整備と展示に関する人材育成ワークショップ」と連携して、2014（平成26）年7月2日から15日にかけて人材育成事業（研修生 計14名の参加）を実施した。この事業の中で、アフガニスタン国立博物館、情報文化省、考古学研究所より各1名、考古学及び建造物保存修復の専門家を招聘し、人材育成を行った。

イ) バーミヤーン遺跡保護のための研究会の開催：4月30日に日本イコモス国内委員会と「バーミヤーン東大仏の「足」と「部分的再建」を考える」を共催した（専門家14名の参加）。その後、上記のテーマに関する提言を作成し、発表した。

ウ) アフガニスタン文化遺産調査資料集の出版：昨年度バーミヤーン遺跡において、アフガニスタン情報文化省と共同で行った11次ミッションについて報告書を作成、刊行した。また、既刊である『アフガニスタン文化遺産調査資料集別冊第4巻 バーミヤーン遺跡資料集1 バーミヤーン谷中心部の文化的景観：1970年代』、『アフガニスタン文化遺産調査資料集別冊第5巻 バーミヤーン遺跡資料集2 バーミヤーン谷中心部の地形測量』のDVD版を刊行した。

エ) 外部機関・団体との共同研究等：名古屋大学「ユーラシア大陸における文化遺産資料の自然科学的手法による年代学的研究」；名古屋大学への委託事業を通して、バーミヤーン遺跡などアジア各地の遺跡の出土遺物を対象に高精度の放射性炭素年代測定を実施し、考古・美術史研究の知見と総合して、遺跡の年代学的研究を行った。

#### 2. 西アジア周辺諸国における文化遺産の調査研究・保護への協力等

ア) タジキスタン：ユーラシア壁画の調査研究と保存修復事業と連携し、タジキスタンにて2014（平成26）年9月11日から10月2日にかけて、国立古代博物館所蔵のフルブック断片壁画の保存修復を行い、博物館内に展示した。

イ) キルギス共和国：文化庁委託文化遺産国際協力拠点交流事業と連携し、2014（平成26）年10月27日から11月1日に掛けて、展示と報告書作成に関する人材育成ワークショップを行った（研修生12名の参加）。11月29日から12月8日にかけて、遺物のドキュメンテーションのための現地作業を行った。

ウ) ユネスコ／中央アジア文化遺産保護事業に関する報告書を作成し、刊行した。

エ) アルメニア：文化庁委託文化遺産国際協力拠点交流事業と連携し、アルメニア共和国歴史博物館との考古青銅遺物の保存修復に関するワークショップを2014（平成26）年5月20日から24日まで開催した（研修生8名の参加）。

オ) イラン：新世紀国際教育交流プロジェクトと連携し、2014（平成26）年8月26日から9月5日に掛けてイラン文化財専門家を招聘し、それに併せてイラン文化財保護に関する研究会を8月29日に開催した（専門家10名の参加）。2015（平成27）年1月7日から23日にかけて、イランにおける文化遺産の視察および先方関係機関との意見交換を行った。

## ②国際協力・交流等 Area11

カ) エジプト: JICA受託「エジプト国大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト」にかかる支援業務および同プロジェクトの「保存修復材料としての和紙研修」受託業務を行った。

キ) ヨルダン: JICAが主導し進めている「ペトラ博物館」建設計画にかかるアドバイザー業務を行った。

### 3. 国際会議等の主催・参加

ア) 公開シンポジウム「シリア文化遺産の保護に向けて」(6月23日、於東京文化財研究所、主催)

イ) 「To Safeguard Syria's Cultural Heritage: International Expert Meeting」(5月26日～28日、於ユネスコ本部(パリ)、フランス、出席者: 山内和也、安倍雅史)

ウ) 「International Symposium on Conservation of Ancient Sites on the Silk Road 2014」(10月8日～9日、於敦煌、中国、出席者: 山内和也)。

### 報告

・山内和也「バーミヤーン東大仏の『足』と『部分的再建』を考える」『INFORMATION』9-6 JAPAN ICOMOS p.16 14.6

・山内和也「世界遺産としてのシルクロードー日本による文化遺産国際協力の軌跡ー」『INFORMATION』9-8 JAPAN ICOMOS p.16 14.6

### 発表

・安倍雅史・新井才二「アク・ベシム遺跡出土の羊距骨とキルギス伝統遊戯チュコ」日本西アジア考古学会第19回総会・大会 日本西アジア考古学会 鎌倉女子大学 14.6

・藤澤明、有村誠、邊牟木尚美、山内和也、Anelka GRIGORYAN「アルメニア共和国ルチャシェン遺跡から出土した考古金属資料の科学的調査」文化財保存修復学会第36回大会 明治大学 14.6

・Yamauchi, K. "Conservation of the Bamiyan Mural Paintings, Afghanistan" Dunhuang Forum: International Symposium on Conservation of Ancient Sites on the Silk Road 2014 Dunhuang China 14.10

・山内和也「バーミヤーンの保護活動の現状」文化遺産国際協力コンソーシアム第23回西アジア分科会 東京文化財研究所 14.9

・Rei HARADA, Kazuya YAMAUCHI, Shigeyuki OKAZAKI, Yasuyoshi OKADA, Kazushi HAMAZAKI, Hideaki TEMBATA, Kensuke OHISHI, Mitsuhiro OSAKI, Adel ZUREIKAT "Initial Heritage Impact Assessment for the Project for Construction of the Petra Museum, Jordan" ICOMOS 18<sup>th</sup> General Assembly Florence Italy 14.11

### 刊行物

・『バーミヤーン遺跡保存事業概報: 2013年度(第11次ミッション)』東京文化財研究所 15.2

・『NRICP Final Report of the 2011-2013 UNESCO/Japan Funds-in-Trust Project』東京文化財研究所 15.3

・『Indo-Japanese Joint Project for the Conservation of Cultural Heritage, Series 4, Indo-Japanese Project for the Conservation of Ajanta Paintings: Conservation and Scientific Investigation of the Paintings of Ajanta Caves 2 and 9』東京文化財研究所 15.3

・『Armenia- Japanese Joint Project for the Conservation of Cultural Properties Volume 2 Conservation and Scientific Research of the Archaeological Metal Objects at the History Museum of Armenia 2011-2015』東京文化財研究所 15.3

・『シリア復興と文化遺産』東京文化財研究所 14.5

### 研究組織

○川野邊渉、山内和也、安倍雅史、川口雄嗣、田島さか恵、久米正吾、藤澤明、山田大樹、増渕麻里邪、山藤正敏、近藤洋、本郷浩志、小川絢子(以上、文化遺産国際協力センター)、森本晋、石村智、田代亜紀子(以上、奈良文化財研究所)、松田泰典、杉原朱美、間舎裕生、釘屋奈都子、谷口陽子、邊牟木尚美、鈴木環(以上、客員研究員)